



クラウド通信

INTERVIEW

テクノロジーが
進化しよしても
経営者にとり
寄り添うことの
価値は変わらない
小野 晋平様
小野 晋平 税理士事務所



M&Aの
マッチングサービスを自社開発。
マッチングから戦略策定まで
ワンストップでサポート

ユニヴィスグループ
渡邊 広康様

士業 サミット 2019

士業の未来は、
日本の未来だ。

7.5 金 14:00-18:00



CONTENTS



Fintech 研究所長コラム

統一 QR コード実証実験への参加

マネーフォワード取締役 Fintech 研究所長 瀧 俊雄

「会社設立ユーザー会」開催！
参加会計事務所様を募集

「MF KESSAI」
ファクタリングサービスに関する
二次代理店制度

CONTENTS

- 01 **Fintech 研究所長コラム** (瀧 俊雄)
- 02 **会計事務所インタビュー** (小野晋平税理士事務所 小野 晋平様)
- 04 **会計事務所インタビュー** (ユニヴィスグループ 渡邊 広康様)
- 06 **士業サミット2019** 7/5(金) 全国 5 都市同時開催
- 08 **「会社設立ユーザー会」開催!** 参加会計事務所様を募集
- 09 **ファクタリングサービスに関する二次代理店制度** 「MF KESSAI」
- 10 **IT 導入補助金** 二次公募
- 12 **新機能のお知らせ**
- 13 **スキルアップ講座** 参加者募集

会社概要

社名	株式会社マネーフォワード		
事業内容	インターネットサービス開発		
設立	2012年 5月		
代表者	代表取締役社長 CEO 辻 庸介		
取締役	瀧 俊雄 市川 貴志 金坂 直哉	中出 匠哉 坂 裕和 竹田 正信	
社外取締役	車谷 暢昭 田中 正明 倉林 陽 岡島 悦子	監査役	上田 洋三 田中 克幸 瓜生 英敏
所在地	本社	〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-21 msb Tamachi 田町ステーションタワー S 21F	
	北海道支社	〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西 4-5-1 札幌大手町ビル 3F	
	東北支社	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央 2-2-10 仙都会館 5F	
	東海・北陸支社	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 2-41-10 アストラレー名駅 7F	
	京都支社・京都開発拠点	〒604-8004 京都府京都市中京区三条通河原町東入中島町 78 番地 明治屋京都ビル 4F	
	関西支社	〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋 2-5-8 トレードピア淀屋橋 9F	
	広島支社	〒730-0015 広島市中区橋本町 9-7 ビル博丈 5F	
	九州・沖縄支社	〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名 1-12-57 福商会館 3F	
	グループ会社	MF KESSAI 株式会社 (https://corp.mfkessai.co.jp) MF HOSHO 株式会社 株式会社クラビス (https://klavis.recruitment.jp) マネーフォワードファイン株式会社 マネーフォワードフィナンシャル株式会社 (https://corp.mf-financial.jp) mirai talk 株式会社 (https://miraitalk.com) 株式会社ナレッジラボ (https://knowledgelabo.com) 株式会社ワクフリ (https://wakufuri.com) Money Forward Vietnam Co., Ltd.	

家計簿・資産管理サービス

 Money Forward ME

自動貯金アプリ

 SiraTama
しらたま

事業者向けクラウドサービス

 Money Forward クラウド会計

 Money Forward クラウド確定申告

 Money Forward クラウド請求書

 Money Forward クラウド経費

 Money Forward クラウド給与

 Money Forward クラウド勤怠

 Money Forward クラウドマイナンバー

 Money Forward クラウド資金調達

自動記帳化サービス

 STREAMED
Money Forward

経営分析サービス

 Manageboard
Money Forward



瀧 俊雄の

Fintech 研究所長 COLUMN



Vol. 12

統一QRコード 実証実験への参加

総務省の実証実験にマネーフォワードが参加

先日ですが、当社は総務省の実施するモバイル決済モデル推進事業において、売上管理画面を提供する企業としてのプロジェクト参加を表明しました。

この事業は、政府による推進を得ながら、岩手、長野、和歌山、福岡の4県において、小売店や飲食店の2～3割をターゲットとして、QRコードによる決済端末を導入するプロジェクトになります。「LINE Pay」や「Origami」社を含めて、10社を超える決済事業者が参加予定であり、マネーフォワードはこれらの決済事業者で個別に計上される売上を、店舗の方が一覧できるサービスを提供する予定です。

QRコードについておさらいをすると、スマートフォンを持った消費者が、お店との間でバーコードをカメラで撮るやり取りをすることで、決済金額や本人の確認をすることができる技術です。これには、消費者側がバーコードを提示するCPM (Consumer-presented mode) と、お店側がバーコードを提示するMPM (Merchant-presented mode) が存在しています。最小限の設備を考えれば、例えば農家の無人販売所で、大根の横に印刷した150円のQRコードのシールを張っておけば、農家の口座に資金が振り込まれる仕組みを作ることができます(この場合にはMPM型となります)。

統一QRコードはお店と消費者双方にメリット

今回のこのプロジェクトの裏側には、統一QRと呼ばれる技術面での規格の合意があります。よく、濫立や林立といわれるように、日本では多くの決済事業者が顧客の支払いのサービスを提供するべく競争をしています。お店の側では、これらの事業者すべてと加盟店契約をすると、表示するQRの形式がそれぞれ異なる場合、レジ周りが煩雑になったり、支払いを受けるために従業員が覚えるタスクが激増してしまいます。統一化されたQRコードであれば、どの決済事業者でもお客さんがレジのQRを読み取れるようになるので、メリットだと言えます。

今回の実験の実効性をより高めている一つの側面として、店舗側が申し込みを行う際に、ほぼ一括して複数の決済事業者への申請が行われる点があります。世の中にたくさんの決済事業者がある中で、消費者が都合のよい決済アプリを持っているとは限りません。ただ、お店側がおよそすべての決済アプリに対応していれば、その問題は解消されます。

ある支払い手段の価値は、「①皆が持っているか」「②どこでも使えるか」によって構成されます。これまでは例えば交通系ICカードが①を大きく満たしている一方で、②については、必ずしも地元のラーメン屋さんでSuica等が使えない、といった問題がありました。今回の場合には、交通系ICカードは含まれていないのですが、②を満たすお店が大幅に増えることで、①がむしろ促進する効果が期待されています。

和歌山県で爆発的に普及するかが鍵

今回の実証実験では、和歌山県のプレーヤーが非常に積極的に動いています。同県はキャッシュレスに対応している店舗の割合、キャッシュレス決済比率の両方において都道府県で47位となっている中で、ある意味一番、このような政府実験が機能する「うまみ」のある場所となっています。中国では、銀行口座から縁遠いユーザーや店舗において、「AliPay」「WeChat Pay」が爆発的に普及しましたが、その現象が和歌山県で見られるのには、大いに注目に値します。イノベーションは常に辺境から起きる中で、例えば皆が「LINE Pay」口座を持つことで、お小遣いのやり取りや、割り勘も同様に「LINE Pay」が使われるようになることは想像に難くありません。

以前のコラムでも書きましたが、決済事業者間の競争は、最終的には消費者および加盟店のユーザー体験が蓄積される中で、究極的な利便性によって決まると考えています。昨年末から展開された割引によるユーザー獲得のフェーズから、徐々に加盟店にとっての利便性(例えば早期の支払いが受けられるか、売上データからの分析ができるか等)という観点も加わっていく中で、その競争の新しい軸が出てくるかもしれません。このような観点の中で、我々も実験参加者として、例えばより便利な決済体験がビジネス上のより有益な情報や、さらなるバックオフィス改善につながるヒントとならないか、目を凝らしていきたいと考えています。

マネーフォワード取締役 Fintech 研究所長
瀧 俊雄 (たき としお)

2004年、慶應義塾大学経済学部を卒業後、野村證券株式会社に入社。株式会社野村資本市場研究所にて、家計行動、年金制度、金融機関ビジネスモデル等の研究業務に従事。スタンフォード大学 MBA、野村ホールディングス株式会社の企画部門を経て、2012年より株式会社マネーフォワードの設立に参加。経済産業省「産業・金融・IT 融合に関する研究会」に参加。金融庁「フィンテック・ベンチャーに関する有識者会議」メンバー。

Fintech 研究所長
ブログはこちら!



https://moneyforward.com/mf_blog

小野晋平税理士事務所

小野晋平税理士事務所
小野 晋平 様

小野晋平税理士事務所

大阪市中央区に2016年2月に開業。職員数4名。法人税・個人所得税の申告業務だけでなく、組織再編・事業承継・M&Aまでを手掛け、顧問先の事業が継続していく上での重要なパートナーとしての関係を目指し、サービスを展開している。

会計事務所インタビュー No.01

小野晋平税理士事務所の小野 晋平様にインタビューを行いました。

クラウド会計を「入力のしやすさ」で評価すること自体が誤り

Q. 小野晋平税理士事務所様について教えてください

社会人になってから10年間、大阪市内の会計事務所に勤務し、多くの貴重な経験をさせていただきました。当初は独立志向は高くなかったのですが、業務の中で若手の経営者の方と多く出会い、彼らをサポートしたいという思いが強くなり、2016年に独立しました。

お客様の利益を最大化させることを目的に、会計税務に限らず、有益な情報提供をしたいと考えています。これまでお客様は紹介経由で徐々に増えてきて、最近はあるがたいことに、同世代の方が経営されている年商規模が数億円の会社と多くつながりを持つことができます。

Q. 「マネーフォワードクラウド会計」の導入のきっかけや、導入にあたって効果を感じられたエピソードがあれば教えてください

以前から「マネーフォワードクラウド会計」の存在自体は知っていたものの、利用することはありませんでした。その後、知り合いの税理士の方から改めて話を伺い、ちょうど当時はスタートアップの会社を多く関与するタイミングであったこともあり、導入することにしました。

当初は、インストール型の会計ソフトに比べて使いづらいうい感じがありました。しかし、多店舗型飲食店の顧問先でタブレットPOSレジの「Uレジ」(※)と、「マネーフォワードクラウド会計」を連携させ、大幅な業務改善が見られたことで、クラウド会計を「入力のしやすさ」で評価すること自体が誤りであることに気づきました。本格的に他の顧問先も含めて導入していこうと思ったのは、このような大幅な業務改善の可能性があると感じたからです。他サービスと連携することによるクラウド会計のメリットは、ますます大きくなることを確信しました。

会計以外にも「マネーフォワードクラウド給与」や「マネーフォワードクラウド請求書」と連携すると、会計情報ができるまでの上流工程のデータもすべて自動で取り込まれますし、Web上で証憑を確認できるため、非常に便利です。

※ 株式会社USENが提供するタブレットPOSレジアプリ



テクノロジーが進化しようとも 経営者に寄り添うことへの価値は変わらない

Q. 「マネーフォワード クラウド」以外にも「STREAMED」や「Manageboard」もご活用いただいていると思いますが、使用感はいかがでしょう

「STREAMED」は、今回の確定申告時期から本格的に活用し始めました。レシートを流すときは、「STREAMED」の画面上であらかじめ科目だけ設定して、同一科目のレシートをひたすら流しています。できあがったものについては、中身と金額・日付が合っているかどうかを画面上で確認できるので、後は登録するだけです。

導入前は1仕訳20円というコストが高いか安いかの判断がつかかねていたのですが、仕訳が翌日に返ってくるといったスピード感と正確性を実感できたので、十分に効果があったと思っています。入力補助者の人件費と比べて、1仕訳20円という設定がコストに見合わないと思われる方もいらっしゃるかと思いますが、入力の時間が削減されることで、その他の付加価値が高い業務を行うことができるので、非常に有効的だと感じています。

「Manageboard」については、「マネーフォワード クラウド会計」で確認できないシミュレーション設定ができますし、アウトプット帳票も多様ですので、便利に活用しています。また、AIチェック機能はこれまで通常の監査で行っていたチェックの内、基礎的な部分を行ってくれるイメージですね。現在、当事務所でもチェックの品質の向上は常に意識しており、不備のないサービスを提供するための仕組み構築が重要と考えています。現状、専門性の高い職員の採用は難しいため、「Manageboard」を効率的に活用して自動化を進めていきたいですね。

Q. 「マネーフォワード クラウド」に今後期待されていることがございましたら、お聞かせください

「クラウド会計」は会計ソフトの概念を新しい角度から変えていくものであり、今後はそれが主流になっていくはずです。「マネーフォワード クラウド会計」は基本的な画面上のメニュー構成が従来の会計ソフトを踏襲しているので、会計事務所にとっては比較的受け入れやすいのかなと感じています。従来のインストール型ソフトでは実現できなかった、他のサービスとつながっていく世界観を実現し、会計事務所にとって有効的な機能を今後も提供してもらえるとありがたいですね。

Q. 会計事務所業界が今後どうなるかについて、先生の見解を教えてください

税理士という職業は経済誌の「なくなる仕事トップ10」の常連ですね。ただし、手書きの伝票がなくなった時代から常に同じことを言われ続けているのも確かです。テクノロジーの進化により、これまで行っていた仕事が自動化されていく流れは間違いないと思います。そして、この進化を活用する側に回することで、顧問先には新しい価値を提供するチャンスが生まれます。

コミュニケーション手段がいかに発達しようと、顧問先のもとに足を運んで経営者の悩みに寄り添い、相談相手となることには、引き続き価値は残り続けるでしょう。経営者が潜在的に求めているものを把握し、会計事務所が経営者にとって最善のパートナーとなるために、税理士自身も常に進化し続けていかなければならないと思います。

記帳代行の領収書や通帳の入力、「STREAMED」が解決します！

使い方はカンタン！わずか3ステップ！

STEP 1 証憑をまとめて スキャン

領収書を1枚ずつスキャンする必要はありません。推奨の高速スキャナのご利用で1枚1秒以下（※1）でスキャン可能。

※1) 弊社内での実験の結果にもとづく。



STEP 2 データ化を確認 (1営業日)

アップロードした証憑は、原則1営業日以内に仕訳データとして納品いたします。オペレータが二重チェックをしているので手書きの領収書も99.9%（※2）の正確性です。仕訳データは、必要に応じて自由に編集可能です。

※2) 弊社調べ。ユーザーからのフィードバックをもとに算出。

STEP 3 ご利用の会計ソフトへ インポート

仕訳データは、お使いの会計ソフトを選んでCSVデータで出力し、そのまま取り込めます。

■対応会計ソフト（2019年1月現在）
マネーフォワード クラウド会計 / 弥生会計 / A-SaaS / フリーウェイ経理 / 財務応援 / free / MJS / ビズソフト / ツバイソ / 発展会計 / 会計王 / JD / 財務処理 db / シスプラ / エッサム / 勘定奉行 / PCA 会計 / グラシアス

お気軽に
お電話ください

STREAMED 相談窓口 10:00～18:00（土・日・祝を除きます）

050-5434-8299

STREAMED
Money Forward

ストリームド
streamedup.com